

種別	測定機関	測定日時	消費材名	生産者名	測定時コメント	サンプル量(kg)	測定分	I131濃度	I131限界	Cs134濃度	Cs134限界	Cs137濃度	Cs137限界	Cs濃度	Cs限界
単協独自米	大宮	2021/9/28	21年産げんき米1号精米(海老沢衛)	丸エビ倶楽部	2L容器	2.008	51	不検出	0.4	不検出	-	不検出	合計 1.0	不検出	1.0
単協独自米	大宮	2021/9/28	21年産げんき米2号玄米(海老沢衛)	丸エビ倶楽部	2L容器	2.031	51	不検出	0.4	不検出	-	不検出	合計 1.0	不検出	1.0
単協独自米	大宮	2021/9/29	21年産コシヒカリ玄米(大和田廣一)	丸エビ倶楽部	2L容器	1.875	61	不検出	0.4	不検出	-	不検出	合計 1.0	不検出	1.0
単協独自米	大宮	2021/9/29	21年産ゆめひたち玄米(大和田廣一)	丸エビ倶楽部	2L容器	1.926	58	不検出	0.4	不検出	-	不検出	合計 1.0	不検出	1.0
単協独自米	大宮	2021/9/29	21年産ゆめひたち精米(貝塚千博)	丸エビ倶楽部	2L容器	1.984	53	不検出	0.4	不検出	-	不検出	合計 1.0	不検出	1.0
単協独自米	大宮	2021/9/29	21年産コシヒカリ玄米(貝塚千博)	丸エビ倶楽部	2L容器	1.952	56	不検出	0.4	不検出	-	不検出	合計 1.0	不検出	1.0

## 国と生活クラブの基準値の比較表

セシウム 134 と 137 合計値、単位:Bq/kg

生活クラブの自主基準			国の基準	
区分	検出下限 目標値 <sup>※3</sup>	基準値	区分	基準値
「すくすくカタログ」掲載食品 (乳児用食品含)	1	不検出	乳児用食品	50
飲料水 <sup>※1</sup> ・牛乳(原乳)・米	1	5	飲料水	10
			牛乳	50
鶏卵・鶏肉・豚肉・牛肉・乳製品	2.5	10	一般食品	100
青果物 <sup>※2</sup> ・魚介類・加工食品	6	25		
生椎茸	10	50		

※1 飲料水には、国の基準と同じ「緑茶」だけでなく、「麦茶」や「山草茶」などの茶類を含みます。

※2 「生椎茸」を除く「きのこ類」を含みます。

※3 検出下限値を目標としている理由は、測定する消費材の比重などにより、検査結果にバラつきが生じるためです。

種別	測定機関	測定日時	消費材名	生産者名	測定時コメント	サンプル量(kg)	測定分	I131濃度	I131限界	Cs134濃度	Cs134限界	Cs137濃度	Cs137限界	Cs濃度	Cs限界
単協独自米	大宮	2021/10/6	21年産げんき米1号精米(櫻井友輔)	丸エビ倶楽部	2L容器	2.010	51	不検出	0.4	不検出	-	不検出	合計 1.0	不検出	1.0
単協独自米	大宮	2021/10/6	21年産げんき米2号精米(枝川仁子)	丸エビ倶楽部	2L容器	2.012	51	不検出	0.4	不検出	-	不検出	合計 1.0	不検出	1.0
単協独自米	大宮	2021/10/6	21年産げんき米2号精米(木村智明)	丸エビ倶楽部	2L容器	2.005	51	不検出	0.4	不検出	-	不検出	合計 1.0	不検出	1.0
単協独自米	大宮	2021/10/6	21年産コシヒカリ精米(平澤大臣)	丸エビ倶楽部	2L容器	1.998	53	不検出	0.4	不検出	-	不検出	合計 1.0	不検出	1.0
単協独自米	大宮	2021/10/6	21年産コシヒカリ精米(雨ヶ谷)	丸エビ倶楽部	2L容器	1.770	69	不検出	0.4	不検出	-	不検出	合計 1.0	不検出	1.0
単協独自米	大宮	2021/10/6	21年産ユメヒタチ精米(雨ヶ谷)	丸エビ倶楽部	2L容器	2.019	51	不検出	0.5	不検出	-	不検出	合計 1.0	不検出	1.0

## 国と生活クラブの基準値の比較表

セシウム 134 と 137 合計値、単位:Bq/kg

生活クラブの自主基準			国の基準	
区分	検出下限 目標値 <sup>※3</sup>	基準値	区分	基準値
「すくすくカタログ」掲載食品 (乳児用食品含)	1	不検出	乳児用食品	50
飲料水 <sup>※1</sup> ・牛乳(原乳)・米	1	5	飲料水	10
			牛乳	50
鶏卵・鶏肉・豚肉・牛肉・乳製品	2.5	10	一般食品	100
青果物 <sup>※2</sup> ・魚介類・加工食品	6	25		
生椎茸	10	50		

※1 飲料水には、国の基準と同じ「緑茶」だけでなく、「麦茶」や「山草茶」などの茶類を含みます。

※2 「生椎茸」を除く「きのこ類」を含みます。

※3 検出下限値を目標としている理由は、測定する消費材の比重などにより、検査結果にバラつきが生じるためです。